

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和4年度 第1回入間市障害者福祉審議会
開 催 日 時	令和4年7月4日(月) 午後3時00分 開会 / 午後4時40分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 5階 全員協議会室
議 長 氏 名	今井 英雄
出席委員(者)氏名	今井 英雄 福井 恵子 黒古 次男 磯田 英穂 内藤 英子 森田 秀子 金平 里美 野村 優美 粕谷 浩史 橋本 敏子 末松 敦子 新井 豊吉 平井 友彦
欠席委員(者)氏名	田邊 仁 石川 孝司
説明者の職氏名	副主幹 平岡 義和
会 議 次 第 (公開)	1 開会 2 審議会委員委嘱式(一部委員) 3 会長あいさつ 4 議題 (1) 障害者福祉に関するアンケートについて (2) 障がい者福祉プラン令和3年度の取組状況について (3) その他 5 閉会
非 公 開 理 由	公開
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	1 令和4年度 第1回障害者福祉審議会次第 2 障害者福祉に関するアンケート(案) 資料1 3 入間市障がい者福祉プラン令和3年度取組状況報告書 資料2 4 入間市障がい者福祉プラン令和4年度取組予定報告書 資料3 5 入間市障害者福祉審議会委員名簿 資料4 6 事務局職員名簿 資料5
事務局職員職氏名	福祉部長 市川 一博 福祉部次長 徳山 寿行 障害者支援課長 小笠原 昌平 主幹 天満 葉月 副主幹 平岡 義和 副主幹 小俣 里子
会議録作成方法	要点筆記

会議録(2)

議事の概要(経過)

○ 議題

- (1) 障害者福祉に関するアンケートについて
事務局より説明。
- (2) 障がい者福祉プラン令和3年度取組状況報告について
事務局より説明。
- (3) その他

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
今井会長	<p>(委員より発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p>次第に入りたいと思います。(1) 障害者福祉に関するアンケートについての説明を事務局からお願いいたします。</p>
平岡副主幹	<p>(障害者福祉に関するアンケート資料1により説明)</p>
今井会長	<p>では、委員の方から、ご自由にご意見・ご質問、お願いいたします。</p>
黒古委員	<p>まず問3のなんですけれど、□の下※のところ、グループホーム、福祉施設等の「福祉施設」というと、この場合は居住型、「入所支援」という表現の方が分かり易いのではないかと思います。</p> <p>それから、14ページ問42、避難場所と避難所というのが違いで、避難場所というのは一時的な逃げる場所、公園などを指していて、避難所というのは生活をする場ですが、そうなる用語の使い方の見解を聞かせていただけたらと思います。色々な災害が起こっておりますが、避難所の生活の中で、障害者の方たちが、そこで生活ができなくて、車中で生活をしなければならないという事例を考えると、この問いについて考える必要があるのではないかと。市は福祉避難所の協定を結んでいると思いますが、質問について検討していった方が良いでしょうと思います。</p>
市川部長	<p>福祉部長市川でございます。私、危機管理監をやっておりましたので、今ご指摘の通りですね、避難場所と避難所は違います。黒古委員がおっしゃった通りです。一時的なもの、と長期的なものというところで避難場所、避難所を使い分けていると、いうところでございます。</p> <p>問42の8番。避難場所の設備、生活環境のところは、一時的に、まず避難するところになりますので、この設問自体は正しく、ご指摘の「避難所」に対しての、設問を加える必要があるという感じがいたしました。私の見解は以上でございます。</p>
今井会長	<p>ありがとうございます。引き続き、質問についてもお願いいたします。</p>
平岡副主幹	<p>福祉避難所につきましては、二次的に設置される避難所と考えております。問42の8については、一時避難場所の問としておりますので、福祉避難所の質問については今のところ考えておりません。</p>
今井会長	<p>設問を追加するってことは検討されないのですか。42の中に、入れてもいいと思うのですけどね。</p>
市川部長	<p>42の8番のところを、例えば、避難場所及び避難所とまとめて、内容</p>

発 言 者	発 言 内 容
今井会長	<p>を両方兼ねた質問にさせてもらうのはいかがでしょうか。</p> <p>福祉避難所については、当然考えなければいけないのですが。</p> <p>避難所生活が長期になってくると、避難所としての設備を考えなければいけないと思います。屋根がない公園が避難場所があります。また、公民館など、屋根があるところは、それは避難場所でもあり、避難所でもあるという位置付けです。その辺りをはっきり分けるとなると、設問自体もしっかり分けなければいけません。内容について、同じ中で確認しても良いのかなあ、という感じもいたしますけれども、分けたほうがよろしいか。</p> <p>いずれにしても設問を42の中で調整するか、43を作るかは事務局の方で相談いただけませんか、検討をお願いいたします。黒古さんそれでよろしいですか。</p>
黒古委員	<p>問42については良いのですが、先ほどお話しました、東日本大震災の時など、障害のある方が避難所で生活ができないなどの問題があるようですが、福祉避難所について市として考えているという事、アンケートを通じて知らせる意味があると思います。そういう意味で福祉避難所を知っているかや、そこで生活するか等の、質問があっても良いと思います。</p>
今井会長	<p>わかりました。私も同感です。その中身については、福祉計画の方で来年盛り込むとして、入間市の場合、個別支援計画の作成が少ないようですが、少しずつ増えていますけど。こういうアンケートで、はっきり福祉避難所という存在があって、個別支援計画で、それを盛り込んでいくことがアンケートを通じてわかる、黒古委員がおっしゃったように大変意義があると思いますので、ぜひ、その設問についての工夫をお願いいたします。それと先ほど、問3について、黒古委員が質問されたところについても、回答をお願いいたします。</p>
平岡副主幹	<p>問3につきましては、福祉施設と一概に高齢、障害施設などにとらえていまして。</p>
黒古委員	<p>日中活動を含めてです。</p>
平岡副主幹	<p>はい、入所施設。</p>
黒古委員	<p>この場合は多分、居住型の入所施設を指していると思うのです。グループもちろん居住型ですし、この場合にもそういうふうに明確に書いたほうが良いと思います。</p>
平岡副主幹	<p>すいません。これだと分かり難いですか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
今井会長	つまり通所系も広く言えば福祉施設だという考えもされているので、居住型のグループホーム等入所系の福祉施設を利用している方は、先に進んでくださいと。問3は、自宅で見える人、家族と、それ以外の人と分けていますので、明確にわかるようにして欲しいというのが、黒古委員の意見だと思います。
平岡副主幹	わかりました、グループホームは具体的に書いてあるので、同じように入所施設という表記に検討する考えでよろしいでしょうか。
黒古委員	はい。
今井会長	ありがとうございました。質問のやり取りが終わりましたので、ぜひ皆さん方からも、多様な意見を、お願いいたします。
新井委員	感想ですけれど問2の、性別ですが、最近、私が使っているアンケートなどは、あまり性別の欄が無い、あとLGBTの問題等もあり、男性女性の、二つから選ぶっていうことも最近減っていて、3番その他とか、この二つだけあって一つ選ぶと、違和感があるというのがあるって、幅があってもいいかなっていう感想を持ちました。
今井会長	ご指摘の通りだと思います。私が事務局に代わって言うてはいけないのですが、今、その他増えていますね。そこは検討をお願いいたします。
平岡副主幹	はい、わかりました。その他か、どちらでもないか、適宜・適切な表現で、3番を設けたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
今井会長	ありがとうございました。では、ほかに。
粕谷委員	確認なのですがすけれども、1500人に送付するというので、抽出の考え方として、手帳保持者の比率で抽出しますという文言があると思うのですが、長く続けていらっしゃると思うので、例えば、身体や療育を持っている人の、抽出される割合は、ずっと一緒に来ているのでしょうか。そこを確認したいと思いました。
平岡副主幹	身体障害者・療育・精神保健手帳の割合につきましては、全体の数で按分している形ですので、それぞれ同じような割合になるかと思えます。前回もその前も同じようになったので、あんまりその差は出ないような形で、割合を出していきたいと思っています。
粕谷委員	何で聞いたかっていうと、割合がコロコロ変わると、前回との比較が難しくなるのではないかと。あと、考えなければいけないのが、この頃精神の人が増えているというのもある中で、その割合がずっとそれでいいのか、というのも今後、検討課題かと思いましたので、以上です。

発 言 者	発 言 内 容
今井会長	ありがとうございました。メインはこの話ですからぜひ、ご質問ご意見、お願いいたします。
平井委員	問38、39で、成年後見制度を扱っているのですが、このアンケートを基に、制度の告知的なものを入れるということでしたら、例えば設問の中に、入間の社協で後見人に関する、サービスなどをやっていますが知っていますか、のような質問を入れてみるのも、入間社協がこういうのをやっている告知にもなるし、知名度がどれくらいあるかを推しはかることもできるので、考慮いただければと思います。
今井会長	ありがとうございました。実は以前私も、この問題ばかりを言っていて、成年後見人が少ないとか、件数も他市との比較も随分質問した記憶はございます。平井委員の意見、大変賛成するべきところで、制度自体を知っているかという質問ですね、入間市社会福祉協議会でという質問が、39の中に入れてもいいのでしょうかし、40問目としてもいいのでしょうかし、そこは選択肢として、あるのではないかと思いますけども、事務局、いかがでしょうか。
平岡副主幹	はい。今の平井委員さんのご意見を参考にして、追加の質問を考えてみたいと思います。
今井会長	<p>ありがとうございます。他にご意見ありましたら、1人で何回も質問していただいても結構ですが、よろしいですか。</p> <p>ではアンケートについての質問意見は、ここで一旦終わりたいと思います。事務局は意見等について、対応をお願いいたします。</p> <p>では、続きまして、(2)入間市障がい者福祉プランの令和3年度取組状況報告書について、事務長から説明をお願いいたします。</p>
平岡副主幹	(入間市障がい者福祉プラン、令和3年度取組状況報告書、資料2により説明)
今井会長	説明ありがとうございました。では、この報告について、質問、ご意見がありましたら、お願いいたします。
金平委員	2ページの、いざという時のための支援体制をつくる、避難行動要支援者制度の件に関するのですが、「個別計画」こちらの作成促進のために制度変更をしたということですが、具体的に教えていただきたいが1点と、現在、個別計画に登録をされている方の総数は何人なののでしょうか。その中から、実際の件数、総数を教えてください。
平岡副主幹	すいません。今、手元にその資料がなくて、行動支援者の対象者は、身

発 言 者	発 言 内 容
市川部長	<p>体障害者手帳の一、二級の方、療育手帳のマルAとAの方。精神障害者保健手帳の一級の方。難病者の医療費助成の認定を受けている方、要介護 3 以上の認定を受けている方。75歳以上の高齢者のみの世帯の方、日本語によるコミュニケーションが困難な在住外国人、このほか、その他支援を必要とする方を、災害時に1人で避難することが困難な方が対象になっておりまして、人数は、15,000人ぐらいです。</p> <p>すいません。これも危機管理課で、この制度をやっておりまして、実際に対象者のには、75歳以上の高齢者のみの世帯がぐっと多いです。それぞれ、身障手帳一級二級や療育手帳の方は少ないですけれども。やはり、75歳以上の高齢者のみの世帯で数が多くなっており、全体的には確か15,000人ぐらいだと思います。</p> <p>対象者に、実際お手紙を出ささせていただいて、制度に賛同する人に手を挙げていただく。その人たちが、確か2,000人いたと思います。更に個別支援計画というものを作らなければいけないのですけれども、その数が少なく、なかなか計画の策定率が悪いところです。今、説明がありました、避難する人が個人ではなくて、組織でも良いとして、今、100ぐらいの数字が、計画として出てきているという情報を聞いております。制度を見直してから数が増えてきている状況ではございます。以上でございます。</p>
金平委員	<p>ありがとうございます。要するに、対象者数ではなくて、登録申請した方が2,000名ということでよろしいのでしょうか。その中の個別計画が、今25件ということでしょうか。</p>
市川部長 金平委員	<p>個別計画が今、100以上です。</p> <p>でも極端に少ないですね。何がネックになっているのか、その辺を、アンケートでもう少し掘り起こすことができるといいのかなと思いますね。</p>
今井会長 平岡副主幹	<p>すいません。今の質問で、制度変更の中身はという質問については。</p> <p>今までは支援する方を個人で登録するようになっていましたが、それを団体に、例えば班とか、自主防災会でも大丈夫な形に変えたと聞いております。</p>
今井会長 新井委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>1ページの地域生活移行者数や、一般就労移行者数が目標を下回ったということなのですけど、要因について教えていただければ、と思います。期待値が高すぎたということなののでしょうか。その辺を教えていただ</p>

発 言 者	発 言 内 容
天満主幹	<p>ければと思います。</p> <p>地域生活移行というのは、2名の方はグループホームから、ご自宅に帰られ、日中活動などにサービスを入れて充実されているので、地域に戻られた、とても良い例と思いますが、数が沢山ないというのが現実です。</p> <p>何でもコロナのせいにははいけないのですが、なかなか1回入所した方が地域に戻る際、自宅の受け入れる側も、ご家族の方がお体の弱い方だと、感染が怖いということもあって、思ったように進まないという要因はあります。一度、施設入所してしまうと、ご家族も、ご自身の生活でいっぱいになり、なかなか進まなかった、その辺も要因と考えております。</p> <p>一般就労数ですが、15名ということで、日々現場だと月に1名から2名ぐらいの方々が、一般就労しましたと申請がありますので、すごく少ない感じではなくて、コンスタントに一般就労しているという感想でおります。数的に追いついていないのかなどと思います。ただ、コロナ禍だからといって企業側が、一般就労は少しストップというようなことは、この1～2年間なかった印象になっております。</p>
今井会長	<p>ありがとうございました。ちょっと総数が少ないということで、感覚的なのですがグループホームの数っていうのは最近増えていますかね。私が知っているところでは、たくさんグループホームを作っています、増えていると思うのですが、入間市はグループホーム数が、伸び悩んでいるというのも原因一つではないかと私は考えているのですが、その辺はいかがでしょうか。</p>
小笠原課長	<p>入所されている方が、地域生活に移行するとなりますと、在宅、ご自宅に戻られるというのが一つかと思えます。もう一つ考えられるのは、グループホームだと思います。</p> <p>入間市に新たにグループホームができている、というのも事実なのですが、入所されている方の多くは、障害の度合いが重度の方が入所の必要があった。ということです。</p> <p>地域生活に戻られる方を、受け入れられるグループホームは、日中も支援員の方がいらっしゃるグループホームです。日中サービス型のグループホームはまだ市内には少ないかなと考えております。</p> <p>その辺があって、グループホームそのものは入間市に増えてきているので、実際にグループホームを利用されている方というのは増えています。ただ、ここで言う入所施設からグループホームに移行というのは、令和3</p>

発 言 者	発 言 内 容
今井会長	<p>年度についてはいらっしゃらなかったですし、その前の段階でも、そんなに多くの人数はいなかったと思っております。以上です。</p> <p>ありがとうございます。ということは、親が年をとって、自宅からいきなりグループホームに行くっていう人は、結構いると。ただ施設から、移行する人が少ないということでございますね。わかりました。</p> <p>いずれにしても今度グループホームの制度も国の方で変わるらしいので、積極的に活用して、地域移行の数が増えるようにひとつお願いいたします。</p>
磯田委員	<p>アンケートと、重複するような内容になってしまうのですが、今回のこのプランの報告の中では「りぼん」のことが、載っています。</p> <p>ただアンケートの方では、「ういず」とか、「茶おちゃお」は載っているのですが「りぼん」のことは載っていないですね。これは何か意図的な部分があるのか。</p> <p>プランのニーズ調査ということになれば、やはり「りぼん」も載せて、周知という意味も含めた、質問があった方がいいのではないかとこのところが1点と、もう一つ、お聞きしたいのが個別支援計画の件ですが、アンケートで、利用したいという方が今後出てきた場合に、こういった方のところには、行政とか自主防災会の方から積極的なアプローチをして、計画を作っていくのか、ということをお聞きしたいと思います。</p>
平岡副主幹	<p>「りぼん」について、特に意図的に載せてないというわけではないので、特に載せることについては検討させていただくよろしいでしょうか。</p>
磯田委員	<p>はい。</p>
平岡副主幹	<p>また、個別支援計画につきましては、市川部長と変わります。</p>
市川部長	<p>はい。個別避難計画ですが、危機管理課で行っております。やはり計画が進まない理由は、今、説明の中で、基本的には一対一でその人を避難支援します。地域の方がどなたかいればいいんですけど、責任を感じて、個人名を避難計画書に書くことを躊躇する人もいます。それが自主防災会だったり、極端な話、民生委員や、いろいろなサークル活動をしているサークル名だったり、団体でもOKにしたのが今回の改正です。</p> <p>相談を受けて、相方が話し合いの中で、計画を書き上げて危機管理課に提出していただけると、ありがたいです。ただ、そこまでいかない状況も十分考えられて、誰を地域支援者にとすると良いか、個別避難計画を記入するのに決まらないから、どうすればいいですかと、というような質問をい</p>

発 言 者	発 言 内 容
磯田委員	<p>ただくと、危機管理課で間に入って、計画を作成する支援をすることにしていきますので、もし近くにそういう個別避難計画書を作りたいという方がいた場合は、まず危機管理課に相談していただくのが良いと思います。</p> <p>そうすると、アンケートで利用したいと言っても、現状は変わらず、あくまでも利用したい本人が、もう一度、窓口に来てお願いしますと言わない限りは、変わらないってことですかね。</p>
今井会長	<p>これあくまでアンケートの話で、個別支援計画を知っていますかというアンケートでいいのでしょうか。今みたいな細かいことを、アンケートに入れるのは、難しいのではないかと思います。</p>
磯田委員	<p>アンケートで訊いてしまっていることが逆に怖いと感じます。</p> <p>利用したいか、したくないかを聞いている。実際、私自身もこの支援計画について、別の町ですが、オブザーバーで参加しています。本当になかなか、汲み上がらないです。作り上げることが本当に難しい制度だと私自身も思っています。それで、利用したいと、アンケートで書いたのにとわかってしまうことが、ある意味で希望を与えてしまう。この制度を知っているかどうかを聞いているだけで止めた方が、いいのではないかなと思い、質問をさせていただきました。</p>
今井会長	<p>具体的にどこをどう変えたいという、ご意見なのでしょうか。問44を削除するということですか。</p>
磯田委員	<p>問44は削除していいのではないかと。</p>
今井会長	<p>そうですか？そこまでするのは、どうかと思いますが。</p>
平岡副主幹	<p>こちらの問44につきましては、第3回の会議の時に、避難行動要支援者制度について、質問を入れたらどうかと委員さんよりありまして、追加したような経過がございます。それを踏まえて検討していただければと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
今井会長	<p>あえて追加したという趣旨もあるし、削除するには、みんなが納得するコメントをいただく必要があります。</p>
磯田委員	<p>私がいろんな支援活動をやらせていただく中で、希望を与えるのだったらしっかり最後まで付き合うということを大事にしています。アンケートも一つの希望を与える手段だと思うので、そのアンケートの中で、こういう制度があると知りました、私は利用したい、と言った時に、何も、返事がない。誰も反応してくれないなっていうのって、すごく不思議な、感じがするのですよね。</p>

発 言 者	発 言 内 容
今井会長	<p>大変申し訳ないのですが、今の趣旨であれば、アンケートを変更するのではなくて、障害者福祉計画にそれを盛り込むべきです。アンケートで利用したいという人に対してどうフォローするかを計画に入れればいい話ですよ。ここで、削除してしまうのは、あまりに短絡的ですし、希望を与えるのだったらかえって削除した方がいいというのは、私は賛成ができかねます。</p>
磯田委員	<p>希望を与えるのではなくて、希望を与えてしまうのだったら無いほうがいいのではないですか。</p>
今井会長	<p>希望を与えたのだったら、それに伴うだけの計画を充実させる話です。計画を見直すとき磯田委員がちゃんとおっしゃる話だと私は思います。ここではアンケートの話をしている訳ですから、そのあとのフォローをどうするかってことは、これは計画の話です。来年4月以降のところ、お話しただいて、みんなで納得すれば、追加されていくと思います。</p>
磯田委員	<p>そういう道筋があるのであれば。</p>
今井会長	<p>ここではアンケートの検討で、内容をどう実現するか、それは福祉計画の中で扱うべきことだと思います。</p>
磯田委員	<p>なるほど、わかりました。</p>
今井会長	<p>では他にございませんでしょうか。黒古委員。</p>
黒古委員	<p>はい、一つは以前質問させていただいたかと思うのですが、施策3の、障害者の意見を反映するための体制づくりに、防災会議を活用しました、について、防災会議には、障害のある方が委員として入っているのですかと質問させていただいたと思います。その時は確か、わからないとの回答だったのですが、意見を反映するための体制づくりということであれば、防災会議にやはり障害のある方が委員として参加するのは当然だと思いますが、その辺、実際どうなっているのか、お聞かせいただきたい。</p> <p>それから、障がい者福祉プランは、行政に対して計画をしていきましようというのはそうなのですが、やはり市民と、そういう意味で官と民が、手を携えてというか、一緒にこの目標を達成していこうという事が、とても大事なことのように思います。</p> <p>障がい者プランについて、例えば、障害者支援事業所等に向けての説明会、職員の意識であるとか、法人の考え方であるとか、障がい者プランでこういう数値目標があり、ぜひ協力してください。というような説明をやっていただきたいと、私は思います。障がい者プランの実現に向けて、説</p>

発 言 者	発 言 内 容
今井会長	<p>明会など、これにしましうっていうことを、決めるのか、それとも事務局でどうするのかわかりませんが。</p> <p>私も個人的に、どのようにこの内容を、多くの市民の皆さんに、広げるかをずっと感じています。全くその通りです。</p> <p>ただ、問題はですね、障がい者福祉プランの他にもいっぱい計画がありまして、その計画も同じようにみんな広めていかなければいけないという課題がまたあると思います。正直私も、あまりアイデアがないので、ここにいらっしゃる皆様だけでなく、様々な福祉プランをどのように市民と一緒に実現していくか考えて行って欲しいという、私の意見も踏まえて、事務局から回答いただければと思います。</p>
平岡副主幹	<p>障がい者福祉プランにつきましては、会長及び委員さんもおっしゃられたように、取りあえず配布したのみの状況で今までできております。今後どう周知していくかについては、ご意見をいただきながら考えていかなければいけないと思っております。</p> <p>あと、防災会議の関係につきましては、防災会議委員の構成メンバーの中には、令和3年度3回目の会議資料の追加ということで、ご配付させていただいておるかと思うのですが、市長をはじめ、狭山警察署長さんとかっていう役職で入っております、その中に、入間市障害者福祉審議会委員さんが入っているということで、障害者の方、本人ではありませんが、障害者福祉審議会の方が、メンバーにいるということで、ご回答させていただければと思います。</p>
今井会長	<p>黒古さんのおっしゃる通りで、来年度、本格的に福祉プランを作るときに、委員の皆様からも、どうやって作って知らせ実現するかですね、この方法について、どんどん意見を出していただきたいと思います。それと防災会議のメンバーに障害福祉審議会には出ていますが、当事者が入っていないことについては、正直釈然としない気もしますので、ここも皆さんによく考えていただいてですね、将来的にどうするか、要望を出していくか、今後の課題として、ぜひお考えいただきたいと思います。</p>
黒古委員	<p>はい。どうもありがとうございます。ぜひ、前向きに検討していただけるとありがたいと思います。</p> <p>先ほど障がい者プランについての宣伝PRですか、昨年度の実績報告の中でも、いろんな会議、例えば入間市精神保健福祉医療地域連携会議、等々、入間市内だけなのか、狭山や、他のところも含めてなのかわからな</p>

発 言 者	発 言 内 容
平岡副主幹 今井会長	<p>いのですけれど、そういう会議の冒頭で、例えば10分や、15分位で、担当の市職員が参加して、周知や、そこで資料として配るというのは可能ではないかと思うのですよね。たくさんの会議があると思うので、会議の場で、3～10分ぐらい説明を、今の最初のところでもいいかなと思います。</p> <p>自分のことで大変恐縮ですが、一つ案として、就労支援センターりぼん、をやっていたときに、福祉施設に来ていただいて、いろいろな制度の勉強会を行いまして、そのときに、以前いらした大野さんに来ていただいて、福祉プランについて説明をしていただいたということがありますが、その後、そういう会議は無くなったようです。会議がある中でやってみるっていうのも一つかなと、思いますので、ぜひ検討していただければと思います。</p> <p>検討したいと思います。</p> <p>他にご意見ありますでしょうか。</p> <p>皆さんの、貴重な意見がたくさんありましたので、計画に関する部分は、多分増えると思います。このアンケート結果を含めたもので、来年度の福祉計画の作成についても、活発な意見と皆さんの協力をお願いしたいと思います。では、こちらの話は、終わります。</p>
平岡副主幹 今井会長 委員一同	<p>続きまして(3)その他について事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>はい。こちらに、入間市児童発達支援センター運営協議会という会がありまして、そちらから推薦依頼が来ております。前任者は、東京家政大の野澤先生でしたので、事務局としては、新井先生にその後任ということで考えておりますが、皆様のご賛同をいただければ、推薦をしたいと思うのですが、いかがでしょうか。</p> <p>いかがでしょうか。事務局の推薦、新井先生でよろしいでしょうか。</p> <p>異議なし</p>
今井会長 平岡副主幹	<p>よろしいですね。はい、では、お願いいたします。</p> <p>どうもありがとうございました。どうぞ新井先生、よろしく願いいたします。</p>
今井会長	<p>ただいまの説明につきましては、ご質問がありましたらお願いいたします。ではないようですので、ありがとうございました。</p> <p>本日の議題はこれで終了いたしますが、全体を通して何かご意見等がありましたら、いかがでしょうか。特にないようでしたらこれで、今日の議</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒古委員	<p>題は終了したということで、議長の座を下ろさせていただきたいと思います。いかがでしょうか。黒古委員</p> <p>冒頭、議長の今井さんからの話があったかと思うのですが来年度、また、第7期ですか、障がい者プランの作成ということで、いつごろから、できれば早めに部会に分かれて、できるだけ取り組んでいくってということでは、1年だと結構忙しくなってしまうので。</p>
今井会長	<p>全く同意見で、今日もその件で早めに来まして、一応11月、次回に部会分けをして、早めに顔合わせして意見交換をしようということで、11月11日の審議会では、その話が中心になると思います。全く黒古委員と私も同じ意見です。</p>
平岡副主幹	<p>すいません。</p>
今井会長	<p>事務局の代わりに説明してしまいました。</p>
平岡副主幹	<p>ありがとうございました。</p>
今井会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>異議なし</p>
今井会長	<p>どうも、今日の会議についてご協力ありがとうございました。</p> <p>以上、私は、ここで議長の座を下ろしさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和4年7月27日

議長の署名 今井 英雄

議長が指名した者の署名 粕谷 浩史

